

# 飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



スザッチ

## アカカンガルー

アカカンガルー「いと」(雌)の育児嚢(袋)の中ですくすく成長している赤ちゃんを5月中旬に確認しました。写真は5月23日撮影。同月上旬頃に出産し、袋の中に入ったかと思われます。

実は、アカカンガルーの赤ちゃんは、体長約2センチと未熟な状態で生まれ、その直後に袋に入るため、出産の確認が大変難しいのです。そのため、当園では子が袋から顔を出すのを担当飼育員を含め複数の飼育員

が確認した日を誕生日としています。

しかし今回は、お母さんの「いと」が人懐っこく、袋の中も見せてくれることが多いこともあり、まだ中にいるうちに誕生のお知らせとなりました。

通常、生まれて6カ月後に顔を袋から出します。なので、赤ちゃんの「誕生日」は、おそろく10月〜11月頃になるかと思っています。

現在は、袋の中にある乳頭を吸い元気に成長していきます。赤ちゃんが吸い付くと乳頭の先端が膨れて離れられない仕組みになっていて、約1カ月間ずっと吸い続けます。

それまで皆さんが直接見ることはできませんが、母子の状態を考慮しながら赤ちゃんの成長している様子を撮影して、園内の看板や当園のSNS、ブログなどで発信していきます。ぜひ、ごらんください。

(飼育ふれあい係 原田絵梨)

## 「誕生前」赤ちゃん すくすく成長中

